

施策評価シート

施策等名称	地域文化の創造と文化芸術活動の推進	体系番号	0201020301
		主管課	生涯学習課

1 施策基本情報

現状と課題	茅野市には、公民館、博物館、図書館、美術館、劇場、音楽堂等の「文化芸術活動を推進する施設」が多くあり、多くの市民に活用され、活動も活発に行われています。あらゆる市民が様々なライフステージにおいて日常的に多様な文化芸術活動を楽しみ、表現し、創造することにより、充実した生活を送ることができるよう、機会の充実や情報を入手しやすい環境の整備が必要です。また、市民による自主的で創造的な活動をより行いやすく、継続した活動ができる環境を整えるとともに、活動を支える協働の仕組みづくりが重要となっています。
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	誰もが日常的に文化芸術に接し、個々の自由な発想による独創性を重視した創造活動の充実を図り、多様な文化の創造を推進します。

		指標名称	指標の説明(単位)		計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値		
施策指標	①	茅野市民館(劇場・音楽堂・美術館・図書室)の利用者数	(人)		148,734	150,000 158,000		
	②	茅野市民館(劇場・音楽堂・美術館・図書室)を利用したことのある市民の割合	(%)		78.30	80.00 85.00		
	③							
施策の柱1	名称	文化芸術に関する情報の収集と発信			主管課	生涯学習課・中央公民館		
	詳細	文化芸術に関する情報の収集と発信一元化や相談窓口の整備を図り、市民が文化芸術と出会う環境づくりを進めます。						
	まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	公民館報発行回数	(回)	12	12	1 公民館報発行事業	実施	
					12	2 市民館の管理運営事業	実施	
	2				3 文化芸術総合サイト・相談窓口の整備	検討中		
					4			
	3				5			
					6			
	基本政策間連携							
	施策の体系	名称	鑑賞機会の充実			主管課	生涯学習課	
		詳細	文化芸術に親しむきっかけづくりとして身近な鑑賞の機会の充実を図るとともに、文化施設、文化芸術団体、NPO、事業者等が連携し、様々な鑑賞事業を展開します。					
		まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
1		芸術鑑賞講座鑑賞率	鑑賞者数/対象者数×100(%)	98.00	100.00	1 青少年のための優良芸術鑑賞講座	実施	
					100.00	2 ファミリー演劇鑑賞事業	実施	
2		ファミリー演劇鑑賞者(チケット購入者)数	(人)	358	560	3 市民館の管理運営事業	実施	
					560	4		
3						5		
						6		
基本政策間連携								
施策の柱3		名称	文化芸術活動の拠点整備			主管課	生涯学習課・中央公民館	
		詳細	高齢者・障害者・幼児等すべての人にやさしく使いやすい施設に整備するとともに、鑑賞、練習、発表の場の拡充を図ります。					
		まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
	1	茅野市民館(劇場・音楽堂・美術館・図書室)の利用者数	(人)	148,734	150,000 158,000	1 市民館の管理運営事業	実施	
						2 公民館施設管理事業	実施	
	2	中央公民館の利用者数	※ロビー展・芸術祭等の不特定来館者数は未把握のため含まず。出前講座人員含まず。(人)	45,353	48,000 50,000	3		
						4		
	3					5		
						6		
	基本政策間連携							

施策評価シート

施策等名称	地域文化の創造と文化芸術活動の推進	体系番号	0201020301
		主管課	生涯学習課

※施策の柱が4つ以上ある場合は下記へ記載

施策の体系	施策の柱 4	名称	市民の自主的な活動の推進			主管課	生涯学習課・中央公民館	
		詳細	文化芸術活動を行う個人、団体等の協力・連携体制を整備し、市民が様々なライフステージにおいて幅広く活動できる場と機会の充実を図ります。					
		まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業		区分
		1	茅野市民館(劇場・音楽堂・美術館・図書室)の利用者数 (人)	148,734	150,000	1	市民館の管理運営事業	実施
					158,000	2	芸術祭等開催事業	実施
		2	音楽祭・芸能祭参加団体数 (団体)	56	60	3	公民館講座事業	実施
					65	4		
		3	芸術祭(作品展示)出品点数 (点)	758	900	5		
					1,000	6		
		基本政策間連携						
	施策の柱 5	名称	発表機会の充実			主管課	生涯学習課・中央公民館	
		詳細	多様な文化芸術の発表の場を設け、市民の創作や表現活動の促進と交流を図ります。					
		まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業		区分
		1	音楽祭・芸能祭参加団体数 (団体)	56	60	1	芸術祭等開催事業	実施
					65	2	地区公民館事業	実施
		2	芸術祭(作品展示)出品点数 (点)	758	900	3	市民館の管理運営事業	実施
					1,000	4		
		3	茅野市民館(劇場・音楽堂・美術館・図書室)の利用者数 (人)	148,734	150,000	5		
					158,000	6		
		基本政策間連携						
施策の柱 6	名称				主管課			
	詳細							
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業		区分	
	1				1			
					2			
	2				3			
					4			
	3				5			
					6			
	基本政策間連携							
施策の柱 7	名称				主管課			
	詳細							
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業		区分	
	1				1			
					2			
	2				3			
					4			
	3				5			
					6			
	基本政策間連携							

施策等名称	地域文化の創造と文化芸術活動の推進	体系番号	0201020301
		所管課	生涯学習課

No.	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)						
	柱5	茅野市民館(劇場・音楽堂・美術館・図書室)	148,734	171,331	141,877	48,257	55,375	91,120	122,167
	3	の利用者数	150,000	114.22	94.45	32.17	36.92	60.75	81.44
変動要因等	2018年度	平成26年度から14万人台で推移していたが平成30年度は過去最高の17万人を超えとなった。市制60周年記念事業として著名なアーティストの公演、美術展を開催したことにより、今まで足を運んだことのない新たな利用者を獲得した。							
	2019年度	年度末から新型コロナウイルス感染症の影響により、貸館事業及び主催事業の多くが延期・中止となり利用者数の伸びがなかった。この影響は翌年度も続くと考えられる。							
	2020年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として4月、5月が臨時閉館となったことに加え、6月以降も収容人数の制限等感染防止対策をとりながらの開館となったため、貸館事業及び主催事業は大きな影響を受け、利用者数は大幅に減少した。							
	2021年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として4月、5月が臨時閉館となったことに加え、6月以降も収容人数の制限等感染防止対策をとりながらの開館となったため、貸館事業及び主催事業は大きな影響を受け、利用者数は大幅に減少した。							
	2022年度	コロナ禍ではあるが利用者は回復傾向にある。							
	2023年度	新型コロナウイルス感染症が5類に変更されたことにより催事が増え、利用者数が回復した。							

施策等名称	地域文化の創造と文化芸術活動の推進				体系番号	0201020301	
					主管課	生涯学習課	

3 評価・改革改善

(単位:円)

評価	項目		2018年 (前年度比)		2019年 (前年度比)		2020年 (前年度比)		2021年 (前年度比)		2022年 (前年度比)		2018年～2023年(総括)	
	投資額	事業費(円)	230,486,788		224,669,274	0.97	226,016,333	1.01	240,249,564	1.06	261,831,680	1.09	281,753,978	1.08
		うち一財(円)	223,969,022		216,697,465	0.97	210,355,474	0.97	236,026,797	1.12	253,278,929	1.07	261,330,907	1.03
		増減理由 (一般財源 前年度比 ±10%以 上の場合 に記載)							市民館費の内工事請負費が前年より多かつたため。					
総合評価	進捗評価		おおむね順調		おおむね順調		やや遅れている		やや遅れている		おおむね順調		やや遅れている	
	主な取組内容や成果		60周年記念事業等著名な公演や美術展を実施し、市民館の入場者数は過去最高の17万人を超えた。今まで足を運んだことのない市民に鑑賞の機会を提供し、文化意識の向上も図られた。また、協働による芸術環境づくりが評価され、地域創造大賞(総務大臣表彰)を受賞し広く存在を示した。		市民館、中央公民館ともに、市民それぞれの目的に応じた文化芸術活動の拠点として各種事業が実施され、たくさんの市民に利用された。しかし、年度末から新型コロナウイルス感染症の影響により、貸館事業及び主催事業の多くが延期・中止となり最終的には利用者数が伸びなかった。		コロナ感染症の影響を大きく受け各施設の来館者数は減少したが、オンラインの活用や参加者の制限により新たな手法で事業を展開し、新規利用者の幅を広げることができた。来年度、市民館中長期改修計画を基本とした、舞台特殊設備更新工事と機械設備二次劣化診断を実施する予算をつけることができた。		コロナ感染症を見据えた事業展開を図る必要があり、例年に比べ集客の見込める催事は少なかったが、市民の実行委員会や関係団体との連携、オンラインの活用により実施できた事業も多々あった。また、芸術祭作品展など鑑賞型の事業は工夫することにより実施も可能となった。施設修繕については各施設対応を進めている。		(R4評価)市民館ではメジャーアーティストのライブを開催、公民館活動においては、3年ぶりにホールでの発表等の事業を実施、学校における巡回公演も回数を増やすことができた。茅野市HPIに「文化芸術に関する情報」を立ち上げた。(総括評価)誰もが文化的で充実した生活を送ることができるよう、工夫による活動の推進と環境整備を進めることができた。		コロナ感染症の影響はあったが、市民館、中央公民館ともに、できることを工夫しながら各種事業を実施し、多くの市民に利用された。また、誰もが文化的で充実した生活を送ることができるよう、工夫による活動の推進と環境整備を進めることができた。	
		課題	特別な催事や新たな取組に対しては多くの参加者が得られたが、芸術祭など長く継続している取組は高齢化による団体の解散や参加者の減少が課題となっている。市民館は施設・設備の経年劣化と耐用年数の到来が迫り、計画的な改修が必要。		新型コロナウイルス感染症の影響により、文化芸術活動や施設の制限が余儀なくされるなど、次年度は厳しい状況が予測される。地域にとっても不可欠な文化・芸術を絶やさぬよう新しい生活様式に沿った事業展開が求められる。市民館は施設・設備の経年劣化と耐用年数の到来が迫り、計画的な改修が必要。		オンラインの活用によりこれまでと違う取組ができる施設と十分な環境が整っていないため従来どおりの方法でしか対応できない施設がある。又、利用者の特性(年齢層など)でも事業展開が異なり、コロナ対応が壁になる場合もある。市民館舞台特殊設備更新工事等を計画通り実施するため関係者との調整が必要。		公民館使用団体の高齢化や、コロナ自粛により活動の縮小が顕著となっている。併せて、公民館地区事業の停滞が続いている。市民館舞台特殊設備更新工事関係が、半導体不足による遅れが生じているため今後も調整が必要である。		(R4評価・総括評価)新型コロナウイルス感染症による活動制限は緩和されていくが、コロナ禍で停滞してしまった活動を元に戻していくことが課題となっている。ロシアのウクライナ侵攻に端を発した物価上昇に伴うエネルギー価格の高騰により、市民館の経営面において不測の事態が生じている。		新型コロナウイルス感染症による活動制限が緩和されたが、コロナ禍で停滞してしまった活動を元に戻していくことが課題。また、物価上昇に伴うエネルギー価格の高騰により、市民館の経営面において不測の事態が生じている。	
改革・改善	改革・改善内容		地域に文化の種を蒔く事業と一般的に楽しめる事業の両方をバランスよく実施するよう指定管理者と情報共有し連携を図っていく。また、芸術文化協会(公民館)とサポートC(市民館)の連携を支援する。市民館中長期改修計画をもとに劣化状況の把握(点検)と更新工事を実施していく。		地域に文化の種を蒔く事業と一般的に楽しめる事業の両方をバランスよく実施するよう指定管理者と情報共有し連携を図っていく。また、芸術文化協会(公民館)とサポートC(市民館)の連携を支援する。市民館中長期改修計画をもとに劣化状況の把握(点検)と更新工事を実施していく。		コロナ禍においては、対面式とオンラインの併用により更に活動の幅を広げるよう各方面からの支援を検討していきたい。また、関係団体との連携を図っていく必要がある。市民館機械設備二次劣化診断の実施により、今後必要となる改修及び更新工事について関係部署と調整していく。		withコロナ、afterコロナに向け対面式とオンラインの併用により更に活動の幅を広げるよう各方面からの支援を検討していきたい。なお一層、関係団体との連携を図っていく必要がある。		(R4評価・総括評価)停滞してしまった活動を元に戻していくため、社会教育関係団体の活動支援策を検討する。市民館の管理運営について精査し、見直しを図る。自主事業においては、収益につながる新しい事業などの検討も必要。		停滞した活動を元に戻していくため、社会教育関係団体の活動支援策を検討する。市民館の管理運営について精査し、見直しを図る。自主事業においては、収益につながる新しい事業などの検討も必要。	
	施策の柱等の重点化	重点化する施策の柱	3		3		3		3		3		3	
		重点事業	1		1		1		1		1		1	
理由			市民館を末永く維持管理し、地域文化の創造や交流の拠点として発展させるためには適切な時期の改修・更新が重要となる。市民館の特徴であり魅力である先進性の高いクオリティを維持しながら施設を有効活用していくために計画的に実施していく。		市民館を末永く維持管理し、地域文化の創造や交流の拠点として発展させるためには適切な時期の改修・更新が重要となる。市民館の特徴であり魅力である先進性の高いクオリティを維持しながら施設を有効活用していくために計画的に実施していく。		市民館を末永く維持管理し、地域文化の創造や交流の拠点として発展させるためには適切な時期の改修・更新が重要となる。市民館の特徴であり魅力である先進性の高いクオリティを維持しながら施設を有効活用していくために計画的に実施していく。		市民館を末永く維持管理し、地域文化の創造や交流の拠点として発展させるためには適切な時期の改修・更新が重要となる。市民館の特徴であり魅力である先進性の高いクオリティを維持しながら施設を有効活用していくために計画的に実施していく。		市民館を末永く維持管理し、地域文化の創造や交流の拠点として発展させるためには適切な時期の改修・更新が重要となる。市民館の特徴であり魅力である先進性の高いクオリティを維持しながら施設を有効活用していくために計画的に実施していく。		市民館を末永く維持管理し、地域文化の創造や交流の拠点として発展させるためには適切な時期の改修・更新が重要となる。市民館の特徴であり魅力である先進性の高いクオリティを維持しながら施設を有効活用していくために計画的に実施していく。	

作成担当者	北澤 ゆき子	伊藤 利恵	伊藤 利恵	伊藤 利恵	伊藤 利恵	武居 直樹
最終評価責任者	平出 信次	北沢 政英	北沢 政英	北沢 政英	上田 佳秋	上田 佳秋
最終評価年月日	2019年5月31日	2020年7月10日	2021年5月28日	2022年5月30日	2023年10月18日	2024年7月11日